

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：水産業費 目：水産業振興費

事業名 清流長良川あゆパーク活用促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部里川振興課里川振興係 電話番号：058-272-1111(内4214)

E-mail : c11428@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 728千円 (前年度予算額) 879千円

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支 出 金	分 担 金 負 担 金	使 用 料 手 数 料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
前年度	879	275	0	0	0	0	0	0
要求額	728	284	0	0	0	0	0	0
決定額								

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

清流長良川あゆパークの活用促進に係る経費(事務経費を含む)

(2) 事業内容

集客やにぎわいの演出を図るため、来場者100万人達成など節目となる時期にセレモニーイベント等を開催

(3) 県負担・補助率の考え方

県有施設としてのあゆパークの存在をPRする経費であり、県で負担

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	113	業務旅費
消耗品費	43	式典等開催に伴う消耗品
役務費	3	記念品発送料
業務委託料	569	イベント開催に係る委託料
合計	728	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

ぎふ農業・農村基本計画（令和3～令和7年度）

第6章 1 (3) ⑥鮎を守り育てる体制の構築

(2) 後年度の財政負担

パークのにぎわいを発信するためには、節目ごとにセレモニー等を開催する必要があり、継続的負担が必要である。

(3) 事業主体及びその妥当性

県有施設の発信及び知名度向上を目的とした事業であり、県が主体となって実施することが妥当である。

事 業 評 價 調 書 (県単独補助金除く)

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

毎年、パーク利用者数10万人を目指すとともに、県内小中学生による体験学習参加者5,000人を目指す。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R3)	R5年度 目標	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①パーク利用者数	87,950人	100,000人	100,000人	100,000人	100,000人	-
②体験学習参加者数	5,529人	5,000人	5,000人	5,000人	5,000人	-

○指標を設定することができない場合の理由

（記入欄）

(これまでの取組内容と成果)

令和3年度	新型コロナウイルス対策の観点から適切な時期を見定め、55万人記念セレモニーを実施した。当イベントは新聞にも取り上げられるなどして、パークの盛り上がりを演出した。
令和4年度	令和4年6月に来場者60万人を達成したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、セレモニーアイベントは中止となった。
令和5年度	令和7年度当初予算にて追加

指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	供用開始後の事務経費等並びにパークの利用促進及び活性化に係る経費であり、県が主体となって実施することが妥当である。
-----------	-----------------------------------------------------------

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり

2：期待どおりの成果あり

1：期待どおりの成果が得られていない

0：ほとんど成果が得られていない

(評価) 2	あゆパークで漁業体験をすることで、魚釣りに関心をもってもらうことができた。 [アンケート結果] 魚釣りをしたことがある・・・38% 漁業体験を通じて釣りをしてみたくなった・・・94%
-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価) 2	周辺施設と連携しつつパークでのイベントを行うことで、より効果の高いイベント、活性化事業を実施している。
-----------	-----------------------------------------------------

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

遊漁者数が減少しつつあることから、小中学生に魚釣りに興味をもってもらう必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

あゆパークを何度も利用してもらえるよう体験メニュー やシアターの有効活用が求められている。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	